

# 箱根組ニュース

第358号 2023年 2月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 2023年の幕開けは、梁川駅からアプローチの倉岳山に5名。富士は姿を見せず！

1月15日(日)、京王線新宿駅7時10分発の特急高尾山口行きに乗車。

高尾駅に7時59分着。8時21分発のJR中央線大月行きに乗車。天気予報があまりよくないので登山客は少ない感じだ。

梁川駅に8時45分着。降り立ったのは、有倉、奥村、佐藤、西川、戸丸の5名。駅前のトイレ横で身支度とストレッチを行う。

9時5分、曇り空の中歩き出す。駅から甲州街道に下り、甲州街道を右、大月方向に少し進み、左に曲がると大きな梁川大橋を渡る。橋の先にはこれから登る倉岳山が奥に見えている。下を流れる桂川まではかなりの高度感がある。

9時15分、右側のお寺、圓通寺を通過。しばらくは車道歩きだ。

9時27分、左に鋭角に戻るよう道がある。赤いコーンが立っているので通行止めのようなのだが、「月尾根自然の森」入口とある。(キャンプ・バーベキュー場)今は営業していないのかもしれない。

左下を覗くとかなり深いところに川が流れている。桂川に流れ込む支流だが、その支流に流れ落ちる小さな滝が見える。

9時30分、登山口に到着。右の斜面が崖崩れ防止工事が施されていて、右側の登山口の景色が昔とかなり違って見える。車道の左側に登山者用のカウンターが設置してある。5人分チェックする。

9時36分、登山口から山道に入ってゆく。すぐに道が二つに分かれるが標識は左側の緩やかな方を指している。右は多分作業道だろう。左側に大木が二本大きな根の塊をこちらに向けて倒れている。かなり大きな木だ。

9時40分、小さな沢を超えながら左に大きく回り込んでゆく。よく見ると小さいながら石垣を積んだしつかりした橋だ。右が自然林、左が杉の植林地を進んでいく。左側、その杉の向こう、下方向には美しい沢が流れている。ところどころ滝のようになりその滝つぼは深みがあつて美しい。



9時44分、また小さな沢を超え左に回り込んでゆく。その先にパイプを組んだ小さな階段がある。これを超えると川遊びができるような感じのエリアだ。いつか天ぷらも出来るかも。

苔むした岩だらけの少し荒れた沢沿いを、その岩を超えながら進んでゆく。10時半、沢の右側に登山道が移動する。ヤマツブによるとこの沢は月屋根沢というようだ。

10時42分、左側の斜面にとても大きな木が現れる。種類はわからないが見事な大木だ。

11時6分、右側に植林のデータの鉄製の看板。昭和43年度春植え、大月市梁川町とあり、杉2万3千、ヒノキ6千、赤松4千とある。55年ほど前に合計3万3千本の植林が行われたようだ。少し雨が落ちてきたので雨装備をす

る。セーターを

脱いでカッパ上下を着るとかなり快適に歩ける。

11時25

分、ベンチがある休憩所を通り、ここから尾根道までがか

収支	
繰越	28085 円
収入	0 円
支出	
養老溪谷下見	5300 円
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
現在高	22085 円

なりの手ごたえだった。

11時49分、立野峠。ここで尾根道に出る。

左に行けば長いルートで高柄山から上野原まで尾根が続いている。右はこれから行く倉岳山を超えて高畑山から九鬼山までの長いルートがある。

(※例年行っていた戸倉三山をやめてこれからはトレイルニングにこちらのコースをと考えています)

再出発、二度ほど小さなアップダウンがあり最後の登りを超える。

12時35分、倉岳山(990m)に到着。手ごたえ十分だった。山頂には10名ほどの登山客がいた。

小雨が落ちていたので、少し先の林のなかで短めの昼食。お湯を沸かしてインスタント味噌汁。デザートもあり、西川さんのウイスキーも

少しいただいて体を温める。最後はやはりコーヒー。

それにしても寒いので早めに切り上げる。と言いな

2月19日(日)は、養老溪谷です。

小湊鉄道を楽しみ、養老の滝で昼食です。

らくだコース 歩行約2時間

五井駅から養老溪谷駅まで小湊鉄道に乗り、バスで栗又の滝まで、溪谷を歩き、栗又の滝(養老の滝)付近で昼食です。時間があれば、日帰り温泉や養老溪谷駅の足湯も楽しみます。

※味噌汁を作る予定です。

○持ち物 昼食、食器、箸、カップ、飲料水、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 2月17日(金)

集合 2月19日(日) JR 東京駅京葉線  
7:35発 快速蘇我行き(前から3両目)  
※京葉線の東京駅は遠いので乗り換え注意  
10分ほどかかります。八丁堀や新木場乗り換えが便利。(戸丸は新木場駅乗車です)  
途中駅発 八丁堀 7:37 新木場 7:43  
蘇我 8:17着(内房線乗り換え)  
8:31発 木更津行き 五井 8:41着  
(小湊鉄道乗り換え) 8:52発 上総中野行  
養老溪谷駅 10:02着(バス乗り換え)  
10:15発 栗又行乗車  
交通費 東京~養老溪谷 往復 4,540 円  
養老溪谷~栗又 往復 800 円

●お申し込み・お問い合わせ  
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com  
メール: tomarusatoru@hotmail.com  
箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



ら片付けて記念撮影が1時半。というこ  
とで結局50分ほどの休憩だった。

1時35分、鳥沢駅を目指して出発。  
歩けば温まるということで歩き出す。

やはり下りもかなりの傾斜だ。慎重に  
降りていく。

2時2分、穴路峠。小休止。狭い峠で  
深く切れ込んだような峠だ。まっすぐ進  
めば高畑山だが。右の鳥沢駅に向かって  
下ってゆく。

こちらのコースもしばらく下ると岩  
の多い沢沿いの道で滑らないように注

意して進む。少し荒れてはいるが沢自体  
は美しく、苔むした岩の景色も素晴らしい。

2時54分、目の前に二本の大きな杉  
が現れる。夫婦杉と看板がある。

3時10分、左側から道が合わさる。  
高畑山からの道だ。小休止。



3時37分、左側に工事の看板。ため  
池の改修工事だそうで、左側の水のある  
はずのため池はほとんど水がなかった。  
少し進むとダムのお堀。昔、雪のある時

にこの堰堤の斜面でビニールシートで  
雪滑りをしたのを思い出した。20年以  
上前のことだろう。

3時48分、鉄製の格子の扉を開けて  
集落に出る。桂川を渡り、集落の緩い上  
りを過ぎると線路を超えて甲州街道を  
左に曲がる。反対側は扇山だ。

4時26分、鳥沢駅前。ここで西川さ  
んとお別れ。

残る4人は以前行った、たかちゃん食  
堂へ。一年前の扇山の帰りに寄った店だ。  
暖かい店内でホッとして心が休まった。  
お湯割りの焼酎が美味しかった。



